



# グローバル化の取り組み紹介



グローバル化した社会の中で、活躍し続けることができる技術者  
(グローバル・エンジニア)に必要な**グローバル・コンピテンシー**  
(**GCE**: Global Competency for Engineer) を有した技術者  
(グローバル・エンジニア)を養成する。





16/4/12 Univesitas Swadaya Gunung Jati  
(インドネシア)学長等来校  
学術交流協定へ



16/4/28 University of Porto(ポルトガル)  
副学長等来  
ERASMUS+申請へ



16/5/5, 6 KMUTNB(タイ), ITC(カンボジア)を九工大副学長訪問  
交流の強化・促進





16/5/16-18 マレーシアプトラ大学(UPM)に  
尾家九工大学長訪問  
連携強化



16/5/20 フライベルグ工科大学(ドイツ)  
学部長, 講師  
学術交流協定へ



16/5/23 サンテティエンヌ国立高等鉱山学校  
(フランス)アジア担当教授来校  
ダブルディグリー・交換留学実施



学生の海外派遣	17カ国・地域へ430名*
海外インターンシップ	41名*
外国人留学生	219名**
学術交流協定	28カ国, 105機関**
ダブルディグリー協定大学	10大学
Erasmus+(エラスムスプラス)	1件
海外拠点	MSSC マレーシア プトラ大学キャンパス内

\*平成27年度, \*\*平成28年5月



Erasmus+

- \* 欧州連合(EU)の中心的な教育助成プログラム. 高等教育の質保障を伴った様々な人材養成計画, 科学・技術分野における協同教育プログラムを促進.
- \* EU域内および日本を含むEU域外の国々とのネットワークの構築, 研究者, 教職員学生の国際的な流動性向上, 大学間の教育・研究協力を支援.
- \* 2014年～2020年の助成総額は約2兆円.



Erasmus+

- \* ロレーヌ大学(フランス)のパートナー校として採択.
- \* 平成28年9月から, 博士前期課程の学生3名が1セメスター(5ヶ月間)留学.
- \* 講義受講, 研究, 審査を受け, 単位取得.
- \* 教員の相互研究交流(7日間).
- \* 平成29年度には, さらに博士後期課程の学生2名を派遣.
- \* ポーランド, イタリア, ポルトガルの大学と申請中・申請準備中.

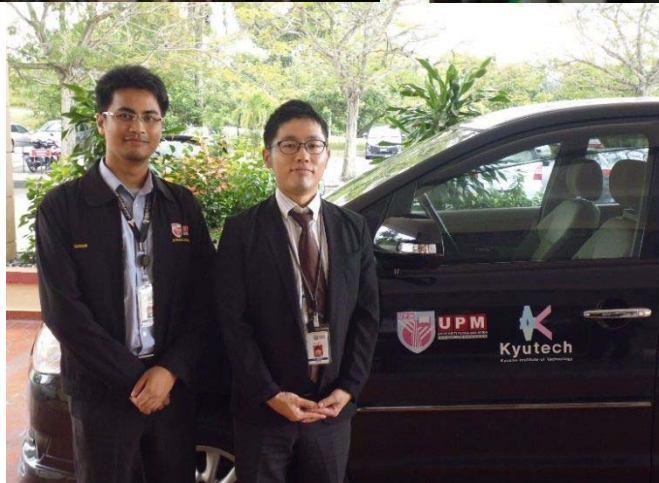




建物



建物内



現地スタッフ(常駐)

九工大海外オフィス(MSSC)

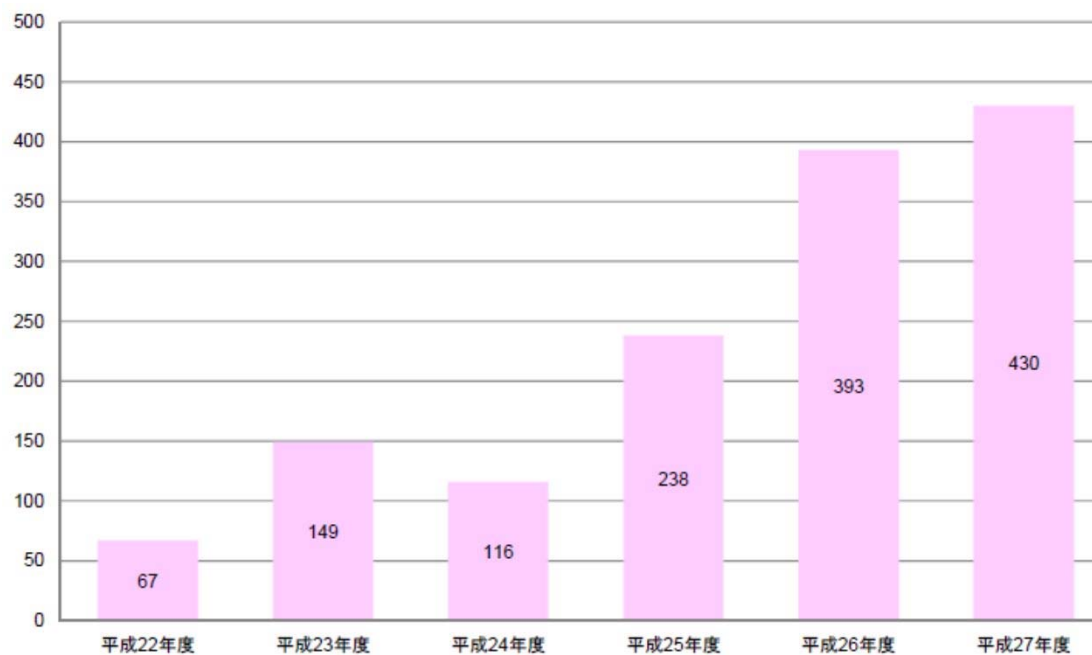
マレーシア プトラ大学(UPM)キャンパス内

学生の海外派遣 17カ国・地域へ430名

マレーシア131名

海外インターンシップ 41名

マレーシア32名





## 平成27年度

九工大 ⇒ UPM :

短期派遣生 84名, 1640名・日  
(19.5日/学生)

研究生 11名, 471名・日  
(42.8日/学生)

UPM ⇒ 九工大 :

短期派遣生 98名, 1926名・日  
(19.7日/学生)

研究生 10名, 1066名・日  
(106.6日/学生)



共同研究論文 (2013 - 2015) 50編

## 国際協働学習



「問題発見解決型学習 (Problem-Based Learning)」  
「プロジェクト型学習 (Project-Based Learning)」

## 国際協働学習



人型ロボット



TV会議システム

「問題発見解決型学習 (Problem-Based Learning)」  
「プロジェクト型学習 (Project-Based Learning)」



2014年10月4日 (星期六) 星洲大都會社區報 19

# 馬日大學碩士生交流 機器人程式賽各顯技術

交流學共有10名來自九州工業大學的日籍碩士學生和8名來自博大的碩士學生參與。他們必須在2星期內，編寫電腦程式，讓可自洽的駭客伙伴 (robot Nao) 依照程式運作。

「沙登3日訊」博特拉大學和日本九州工業大學 (Kyutech Institute of Technology) 舉辦長達2個星期的學生交流學，並在交流學的尾聲舉辦了機器人程式比賽。

交流學共有10名來自九州工業大學的日籍碩士學生和8名來自博大的碩士學生參與，他們被分成4個不同的小組，每組有3名日本學生和2名博大的學生。

他們必須在2星期內，編寫電腦程式，讓可自洽的駭客伙伴 (robot Nao) 依照程式運作。

## 瞭解不同國家文化

永源祥浩 (日本九州工業大學)

“通過這次的活動讓我更瞭解不同國家的文化。雖然在過程中，面對了溝通上的困難，也一度怀疑為什麼日本以外的國家好像特別容易生氣，但是經過2個星期的相處，我明白了每個民族都有自己的溝通方式，只有彼此了解才能夠順利溝通與完成任務。”

## 5組員溝通難得挑戰

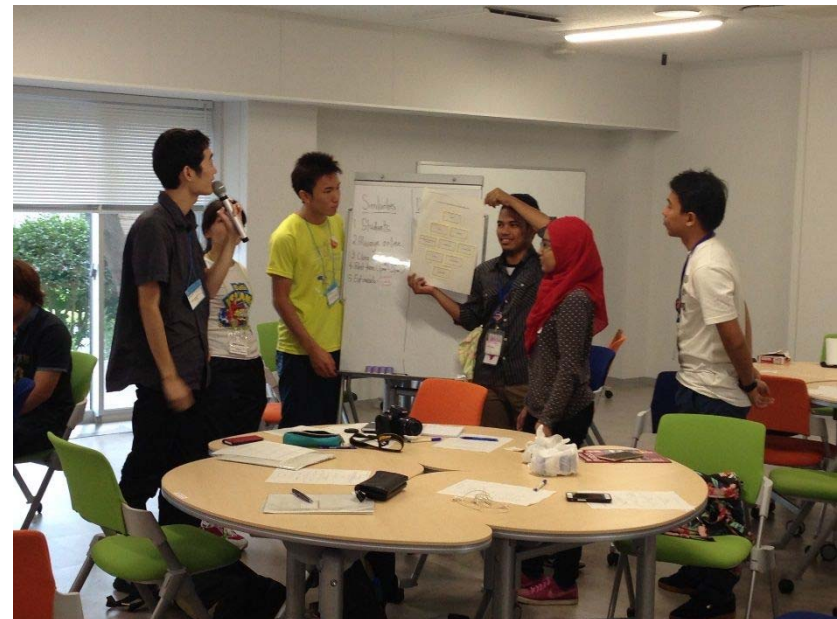
莎雪依蘭 (伊姆赫特博碩士生)

“在不同文化背景和語言下，5名組員進行溝通是一項非常值得挑戰，但是大家同慶時都能成功，讓她感到合作新值。”

## 比手劃腳交流

洪瑞宜 (21歲，博大碩士生)




“這是我第一次參加交流學，感到非常有趣，尤其是在與日本學生進行交流時，因為彼此語言不通，很多時候必須比手划腳來表達意思，讓場面變得非常有趣。”



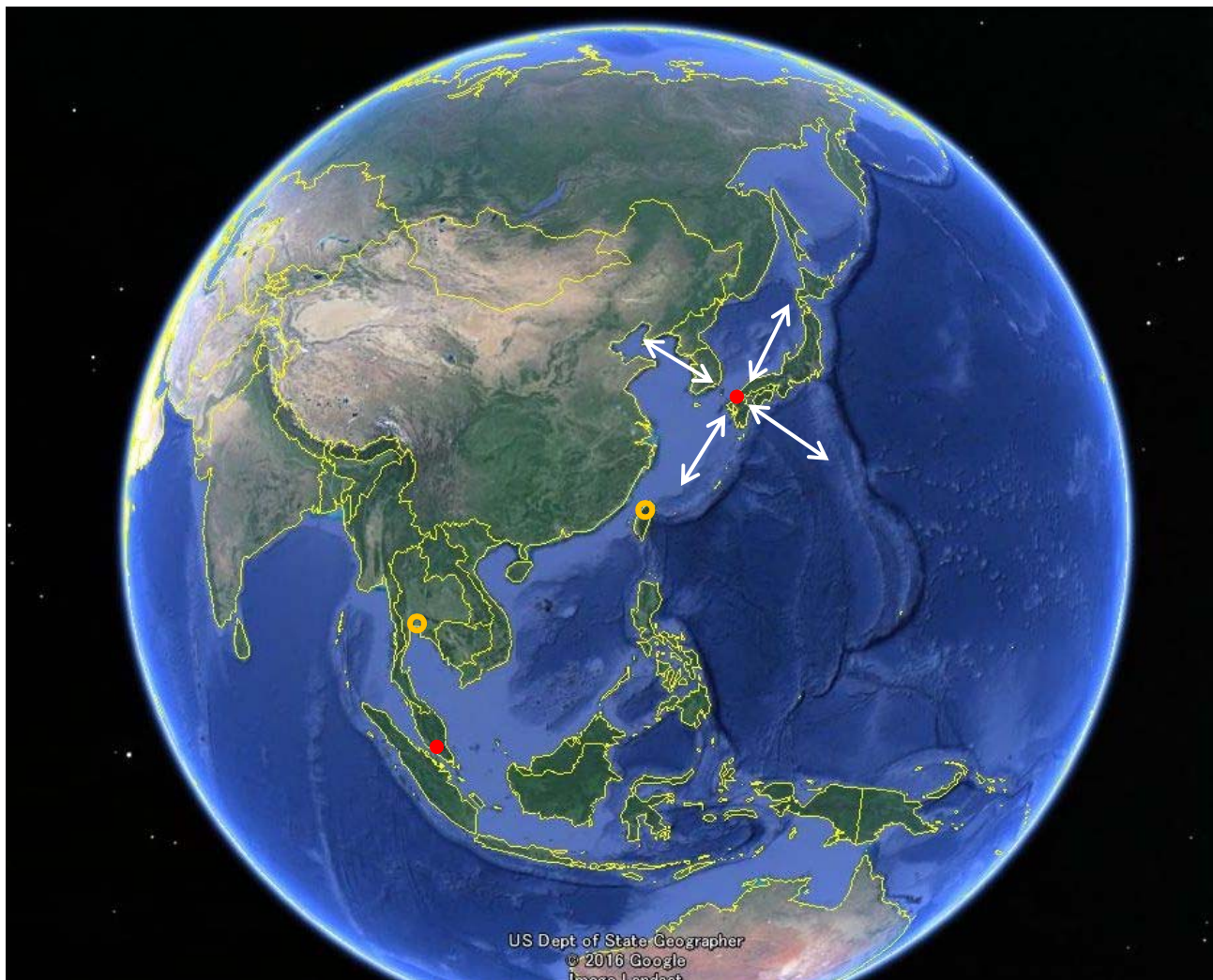
## 九工大での国際協働学習



Graduated PhDs Under the Joint-Supervision by Prof Ali and Prof Shirai since 2000

 Shahrakbah Yacob	 Phang Lai Yee	 Nor'Aini Abdul Rahman	 Cheong Weng Chung	 Chong Mei Ling	 Meisam Tabatabaei	 Hidayah Arifin
 Norjan Yusof	 Alawi Sulaiman	 Azhari Samsu Baharuddin	 Khanom Simarani	 Tabassum Mumtaz	 Mohd Rafein Zakaria	 Mitra Mohammadi
 Ahmad Amiruddin Mohd Ali	 Tatsuya Yoshizaki	 Kohtaro Watanabe	 Mior Ahmad Khushairi	 Mohd Zulkhairi Mohd Yusoff	 Saleha Shamsudin	 Ezyana Kamal Bahrin
 Nor Asma Ab Razak	 Ahmad Muhaimin Roslan	 Sharifah Sopliah Syed Abdullah	 Juferi Idris	 Rafidah Hussien	 Mohd Huzairi Mohd Zainudin	 Noor Azira Abdul Mutalib

  Awarded by Kyutech   
   Awarded by UPM



### 海外拠点

- クアラルンプール
- 台北
- バンコク
- 米国



キングモンクット工科大学北バンコク校 (KMUTNB)  
(九工大博士取得者6名が勤務)



明専学友会(タイ)

Thank you!